



▲設立総会のような様子



相農飯館分校の応援隊

3/20

「飯館分校盛りあげ隊」設立

みんなで相農飯館分校を応援しようとして、有志の会員約600人による応援隊「飯館分校盛りあげ隊」が発足し、公民館で設立総会が開かれました。

応援隊の設立目的は、飯館分校が村の学校であるとの認識のもと、特色ある・個性あふれる学校づくりを推進し、分校が多くなるよう支援するためです。この目的達成のため、教育環境整備（施設周辺の除草・清掃作業）や学習活動の支援（部活動や各種体験等の指導・協力）、分校生との交流事業などを行うこととしています。

総会では、はじめに発起人を代表して菅野村長が「それぞれの立場でそれぞれの思いを分校にかけていきたいと思います」とあいさつ。続いて、同じく発起人代表の伊東利相農同窓会飯館分会長が「会員1000人の目標達成に向けて同窓会を含め頑張っていきたい」とあいさつしました。次に、来賓の菅野元一相農高等学校長と北原昇村

議会議長が祝辞を述べた後、伊東分会長を議長に議事が進められ、応援隊の名称や規約、19年度の事業計画や予算などを審議し、原案通り可決しました。

また、応援隊の役員には、隊長に菅野村長を、副隊長に伊東分会長を、さらに11人の理事と2人の監事を選出しました。

飯館分校では、ここ2年ほど志願者数の定員割れが続いていましたが、今年は定員の40人を上回る志願者数となりました。（合格者数は35人）



▲あいさつする応援隊の役員

子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

学ぶ意欲

4月、新入学の季節です。小学校に入る子どもたちに「学校は何をするところ？」と尋ねますと、ほぼ全員が「勉強するところ」と答えます。飯館村の新1年生も全く同じです。みんな学ぶ意欲に溢れています。

子どもたちの、この気持ちを大切に育てたいと思います。しかし、子どもたちは学年を経るにつれて「学びたくなくなる」気持ちを強め、だんだんと学ばなくなっていくのが現実です。とても残念に思います。

学ぶ意欲は、毎日「学年×10分」程度、親がわが子の勉強のそばにつき、飯館村の教育方針のとおり「タツプりほめ」、子どもに「勉強するとこんな良い気持ちになる」と感じさせることで育ちます。親がこれを10歳頃まで辛抱強く続けますと、自らすすんでしっかり勉強する子どもに育ちます。

繰り返しですが、学ぶ意欲は、親がわが子のために時間を使い、わが子を素直に認めることで育ちます。学ぶ意欲、一生の宝です。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野 和夫